

一般社団法人和食文化国民会議 令和2年度 第2回普及・啓発部会議事録

令和3年2月19日（金）「令和2年度第2回普及・啓発部会」を開催(WEBによる講演配信)した。

今年度は、コロナウィルス感染症拡大防止の観点からリアルな部会は中止し、YouTubeを活用し広く一般に向けて配信する講演会とした。

和食会議正会員及び賛助会員への案内は、2月19日（金）にメールにて案内し視聴をお願いした。

YouTube講演の内容は、会員以外の一般の方が和食に触れる機会としていただくように和食会議のホームページのトップ画面に「和食の講演アーカイブ」として掲載した。

例年、リアルな部会開催時に担当者より報告される普及・啓発部会の事業計画及び、その進捗状況については、2月19日（金）に和食会議正会員及び賛助会員へ向けた講演会案内メールの添付資料にて事業の実施内容について報告を行った。

1. YouTube講演会「和食とは何か」 熊倉功夫氏

2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録された。

一般社団法人和食文化国民会議の名誉会長であり、MIHO MUSEUM館長である熊倉功夫氏による「和食とは何か」のWEB講演をYouTubeで配信した。

アドレスは以下の通りである。

<https://youtu.be/sFPKT2Zp2xw>

2. 普及・啓発部会 事業計画及びその進捗状況

(1) 会員及び一般に向けた普及・啓発活動の推進

- ・会員に向けて年2回の部会および講演会を開催する計画であったが、コロナウィルス感染症拡大防止の観点からリアルな部会講演会は中止し、WEBを使用した講演会を開催した。

第1回は、11月24日「和食の日」に「今に生かす和食」、第2回は、2月19日に「和食とは何か」の講演を配信した。

- ・「五節供に和食献立を！」キャンペーンを通じて、子どもたち、その家族への「五節供」の啓発を行い、全国の小・中学校、幼稚園、保育所の給食のメニューに節供に関連したメニューの提案をお願いした(応募数約70件)。

(2) 「だしで味わう和食の日」企画20,000校に挑戦

- ・今年度より、文部科学省・農林水産省後援名義に加え、新たに厚生労働省の後援名義の使用許可を頂いた。また、小・中学生用のテキストに加え、未就学児用のテキストを作成し、保育園・幼稚園から小・中学生まで幅広く参加を促した。
- ・今年度の参加数は、12,498校 286万人(昨年度9,498校 228万人)の子どもたちが本企画に参加し、和食に触れる機会となった。

(3) 出前授業希望校と会員講師のマッチング

- ・「だしで味わう和食の日」企画に関連して、学校等からの出前授業希望を会員講師に斡旋する事業である。企業・団体・個人会員及び事務局等による出前授業は、前半はコロナ禍の影響を受け、多数の授業が中止となったが、年度末までに36回(昨年度90回)の授業を実施予定である。

- ・今年度も東京都オリンピックパラリンピック教育に参加登録し、和食文化のすばらしさを子どもたちが自信を持って語れるように授業を行った。

(4) 広く、国民に対して和食文化の魅力を発信

- ・国や自治体、民間が開催する行事、展示会への参加等、単独あるいは他の組織と連携した活動では、リアルなイベントは全て中止となった。

しかし、10月以降は、WEBを活用したイベントへの参加及び後援を実施した。

(ジャパンハーヴェスト2020、第5回全国子ども和食王選手権)

以上